



### 後期がスタート

3連休を経て、後期がスタートしました。前週の金曜日に終業式を実施したばかりですが、気持ちや心構えを新たに、再スタートの「節目」を生かしてほしいと思います。

始業式では、前期によかったところ、頑張ったところを自分の「強み」としてさらに成長させるとともに、頑張れなかったところについては、気持ちを切り替えて、引き続き挑戦していくこと等を話しました。また、1年を通して3つの頑張ってもらいたいこと(「あいさつをすること」「挑戦すること」「命を守ること」)に加えて、「やり抜く力」を身に付けることについても話しました。

「やり抜く力」とは、難しいことや困難なことがあっても、「最後まで頑張ろう」「もう一回チャレンジしてみよう」と、諦めずに頑張る力です。そして、この力を伸ばすためには、「自分はやればできる」「自分の能力は、努力によって伸ばすことができる」という、自己効力感が大切になるそうです。「やり抜く力」を育むために、子供たちが困難なことがあってもそれに立ち向かい、目標に向かって粘り強く努力することができるよう、職員一同サポートしてまいります。

### 中野西小学校 創立149年

10月22日は、中野西小学校の創立記念日です。本校の設立には地域の方々の大きな支えがあり、その中でも私財をなげうって尽力してくださった方々の功績と写真が校長室前に掲示されています。また、明治43年竣工時や1974年、1979年、1995年、2000年等の校舎の写真も掲示されています。

各学級では、創立記念日を前に、地域の方々に思いを馳せ、自分たちの学校を大切にする気持ちを育むことができるよう、学校設立の歴史について話をしました。早速、休み時間に写真を見に来る児童もおり、「この時、お父さんいたかな」「お母さんも中西出身だから」と、校舎と児童が写っている航空写真を眺めていました。中野西小学校の歴史と伝統を感じたようです。来年は150周年です。記念の年になりますので、子供たちの手による催しを保護者の皆さまとご相談しながら計画していきたいと考えております。

### 学校ビオトープSDGs学習会 10月26日(土)

「ビオトープ」は、ドイツ語の **BIO**(ビオ:生き物)と **TOP**(トープ:場所)の合成語で、「生き物の暮らす場所」という意味だそうです。学校ビオトープは、学校の敷地内に設けられた生き物の暮らしを支える場所です。本校でも以前、学校ビオトープがあったそうですが、草が生い茂り、生殖していた生き物や植物も見られなくなっていました。



【第1回学校ビオトープSDGs学習会】

昨年度、「環境」をテーマに総合的な学習の時間を進めていた4・5年生が、学校ビオトープを自分たちの手で再生させ、地域の生き物の賑わいを取り戻したいと考え、取り組んできました。地面の掘削や石集めなど、保護者の皆さまや地域の方々のご協力のおかげで、見事、学校ビオトープの再生を果たすことができました。

今年度は、4～6年生の希望者による「中西エコクラブ」を発足し、学校ビオトープの水質検査や生き物の採集、「節電・節水プロジェクト」の周知等、エコに関する活動をしています。10月26日に予定されています、学校ビオトープSDGs学習会は、第2回目となります。第1回同様、県の環境アドバイザーを講師に迎え、生き物を採集して、学校ビオトープに放流する活動になります。今回は、用水路付近だけでなく、地域に生息している生き物を採集する計画を立てています。中西エコクラブの児童だけでなく、誰でも参加できます。保護者の皆様もぜひご参加ください。

### ◇ 飲料用ペットボトルキャップの回収について

市環境教育連携事業の一環として、学校では飲料用ペットボトルのキャップを集めています。子供たちがSDGsをはじめ、ごみ(廃棄物)・資源・リサイクル・環境問題等を体験することで自分事として捉えることを目的としています。中西エコクラブの児童が校内で回収の呼びかけをしました。ご家庭に飲料用ペットボトルのキャップがございましたら、昇降口の回収ボックスに入れてください。ご協力よろしく申し上げます。